

# 月刊 さいとう健けん



3月号  
令和7年3月1日発行

「街の本屋さんを  
元気に！」

## ＜ ミニプロフィール ＞

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。  
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。  
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。  
日米交渉や道路公団民営化、地方行政(埼玉県副知事に外向)などに携わる。  
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。  
平成21年衆議院総選挙において、初当選。6期目。環境大臣政務官、  
党副幹事長、党農林部会長、農林水産大臣、党総務会長代理、法務大  
臣、経済産業大臣を経て、現在、予算委員会理事として重責を担う。  
〔趣味〕ハンドボール、カラオケ、読書、映画  
〔好きな食べ物〕ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)  
〔尊敬する人物〕高杉晋作、原敬、鈴木貫太郎

今、街から本屋さんがどんどん消えています。全国では直近15年で40%も減少し、すでに全国4分の1の市町村で、本屋さんが一軒もありません。

本屋さんに行くと、パッと様々な本が目に入り、何気なく手にした本から視野が広がる、今まで気づかなかった自分を発見する、そういう経験は誰にもあるものです。関心を絞り込んでいくネットの世界ではこういった経験はできません。

ところが、一軒も本屋さんがいない市町村で生まれた子供は、本屋さんのすばらしさを知らないだけでなく、本屋さんという存在すら知らないで育つのです。さいとう健は、これは文化の劣化だけではなく、国力の劣化につながると危機感を感じています。

こういう状況を少しでも改善しようと、平成28年に議員連盟を結成して二度にわたり提言をまとめ、経済産業大臣に就任したのを機に、省内に大臣直轄の書店振興プロジェクトチームを編成しました。昨年暮れには、この件が出版界2024年10大ニュースの一位に輝きましたし(裏面参照)、この春に政府として書店活性化プランを策定するところまで持ってきました。感無量であります。

もとより、政府が多少の政策を講じたところで、事態が一気に改善するものでもありません。書店、出版社、取次、自治体、住民の皆さんなどなど、様々な方々がそれぞれできることをやる、というのが大事でありまして、多くの皆さんの関心が盛り上がるよう、これからも力を尽くしていきます。



経産大臣としてAI・次世代半導体・エネルギー政策に尽力。



経産大臣の引継ぎと省内訓示。経済外交交渉が少し心残り。



政治改革に関する特別委員会にて質疑。



中央政治大学院のインターン生に政治家としての心構えをレクチャー。



予算委員会の与野党理事で能登被災地を視察。

# 2024年 出版界10大ニュース

新文化

1位

## 経産省「書店振興PT」始動

### 書店の課題案29項まとめる

全国市町村の26%が無書店地域になっている現状に経済産業省をはじめ、文部科学省・文化庁、公正取引委員会など関係省庁が、出版界により踏み込んでコミットした。

とくに経産省は3月、「書店振興プロジェクト」チーム(PT)を設置。昨年6月に公表された「経済財政運営と改革の基本方針(骨太方針)2023」に、「出版業及

び書籍・雑誌小売業などの産業構造転換等の支援」や芸術・スポーツ振興に「書籍を含む文字・活字」と記載されたことを受けて書店振興PTを

開始させ、齋藤健大臣(当時)自ら関係者へのヒアリングを開始した。今年6月に公表された骨太方針2024には、「書店と図書館等の連携促進」「書店活性化」と一歩踏み込んだ文言が記載され、同10月に経産省の書店振興PTが「関係者から指摘された書店活性化のための課題(案)」29項目ほか「書店経営者向け支援施策活用ガイド」「全国書店ヒアリングの声」を発表し、業界内外にパブリックコ

メントを募った。29項目では「粗利を抑制する流通慣行」「再販売価格維持制度によりコスト転嫁が困難」「多すぎる出版物の刊行点数」のほか、キャッシュレス手数料、配本・返品問題、図書館への入札問題など具体的な課題が盛り込まれた。

経産省に寄せられたパブリックコメントは400件程度とみられており、これが来年、どのような支援施策に落とし込まれるかが注目される。

関係者のなかには、国から支援されることに嫌悪感を示す声も依然としてあるが、「もう自助努力だけではどうしようもない」と嘆く声も多い。資材・配送・最低賃金などコストが高止まりし、業界3者の厳しさが増すに尽力している。



齋藤大臣(代表撮影) 萬屋書店を視察する

「(当時)自ら関係者へのヒアリングを開始した。今年6月に公表された骨太方針2024には、「書店と図書館等の連携促進」「書店活性化」と一歩踏み込んだ文言が記載され、同10月に経産省の書店振興PTが「関係者から指摘された書店活性化のための課題(案)」29項目ほか「書店経営者向け支援施策活用ガイド」「全国書店ヒアリングの声」を発表し、業界内外にパブリックコ



新成人の皆様へ先輩としてエール!



県連会長として千葉の発展にも尽力。



大垣書店で車座対話も(代表撮影)

なかで「これが最後のチャンス」と握る関係者もいる。昨年4月、「街の本屋さん」を元気にして、日本の文化を守る議員連

～ 後援会入会はコチラまで ～

さいとう健 後援会事務所(流山おおたかの森駅 北口すぐ)  
〒270-0119 流山市おおたかの森北1-5-2セレーナおおたかの森2階  
TEL: 04-7190-5271 FAX: 04-7190-5272 E-mail: info@saito-ken.jp  
さいとう健 国会事務所  
〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室  
TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221

**メルマガさいとう健**  
名前・住所の登録不要。  
月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。  
返信すれば匿名で意見を伝えられます。  
<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料